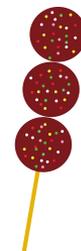




平成27年度 大同大学卒業研究  
愛知ブランド企業(有限会社八雲様) 広報計画



ぼくらチョコマント育ち！



企画書

上岡研究室

D12021 岡田真奈未



# 企画を考えるにあたって



お米を使った日本のおいしさ、昔ながらの懐かしい風味、子供の頃を思い出すふるさとの味を大切にしている八雲だんご。

そんな八雲には多くの和菓子があります。みたらし団子、大福、おはぎ…。

しかしそんな中、「和」と「洋」を組み合わせた「チョコマント」というありそうでなかったチョコと団子のコラボスイーツがあることを、世間ではあまり知られていません。

私も今回、八雲さんと直接関わるまでチョコマントというものを知りませんでした。しかし、実際に目で見て、食べて、こんなに見た目が可愛く、食べきりサイズでおいしいものがあまり認知されていないという現実には「もったいない」という気持ちになりました。

そこで、もっとこのチョコマントを知ってもらいたいという気持ちを念頭に入れ企画を考えたいと思いました。



# チョコマントとは



ありそうでなかった**チョコ+だんご**のコラボ商品

三色団子のような形をした  
外はパリッとチョコレート、中はもちっとしたお団子

トロトロのチョコを団子につけるとチョコレートフォンデュのように  
チョコレートはすぐに固まるので、  
そうなる前にたっぷりのカラースプレーを♪





# バリエーション



夏はスイカのチョコマント  
(スイカ味)



ハロウィンチョコマント  
(スイートポテト、メープル、マロン)  
(ホワイトチョコ)



クリスマスチョコマント  
(ヨーグルト風味)





# 課題



なぜチョコマントがあまり知られていないのか？  
理由を推察してみました。

- ・売り場が少ない
- ・そもそも和菓子に興味を持たない若者が増えている
- ・「チョコマント」と聞いただけでは商品の想像がつかない為、食いつく人があまりいない
- ・メディアでの露出がまだまだ
- ・チョコマントを知る機会が少ない(イベントなど)



# 理由



理由：現在チョコマントはネット販売や観光地などで売っているのみ。  
消費者側から行かなければ知られないという現状。

もっとアクションを起こすべきでは？という事で、先述二つのポイントに絞り、チョコマントを消費者の方から親しみを持ってもらえるような企画を考えたいと思いました。

ターゲットは子供に絞ります。

幼いころの特別な記憶は大人になっても覚えているものです。

チョコマントが今の子供たちにとって「昔なつかしの味」になってもらえることを期待します。



# 企画テーマ



## ぼくらチョコマント育ち！

気づけばいつもチョコマントが...。  
チョコマントって何？なんていつの時代？  
あって当たり前なのがチョコマント！





# 企画内容



幼いころから、チョコマントと接する機会を作ります。  
その可愛らしい見た目から、チョコマントは子供にとって受け入れやすく親しみを持ちやすいものだと思います。  
幼少期の記憶は大人になっても覚えているものだと言いましたが、子が親になった時、自分が何で育ったのか次の世代へ、そしてまた次の世代へと語り継ぎゆき愛され続けてほしい、そんなLTV型コミュニケーションを築いていけたらと思います。



# LTVとは？

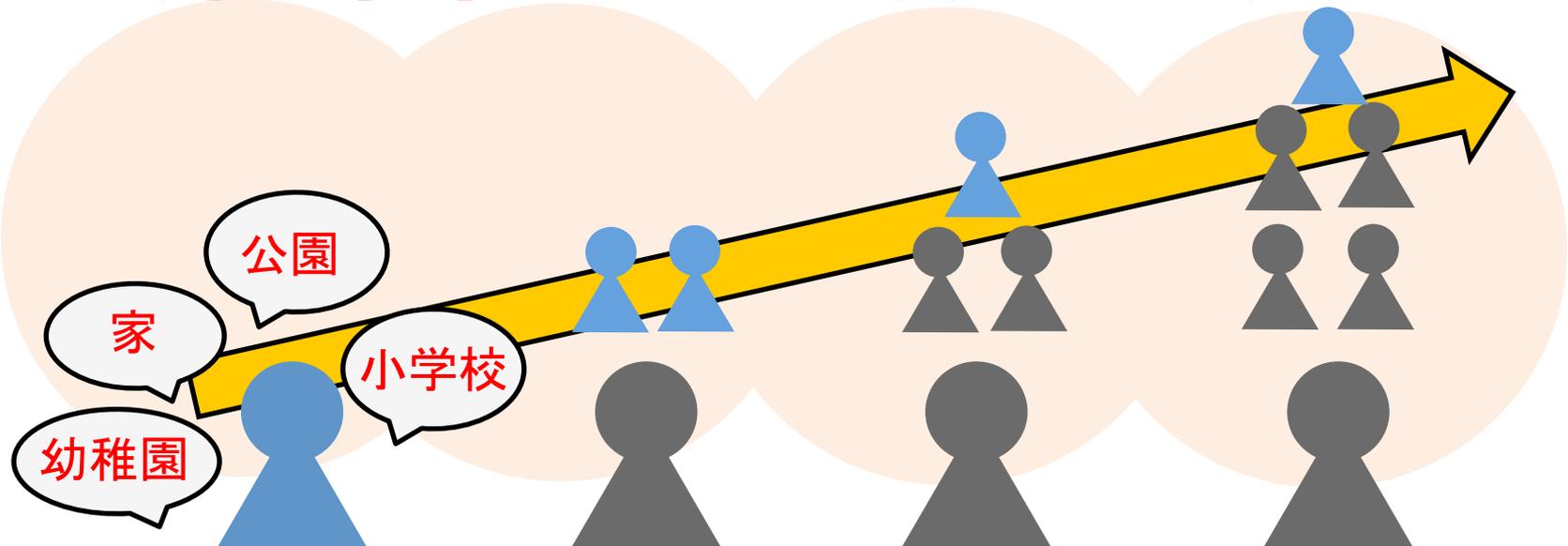


**LTV=Life Time Value(ライフ タイム バリュー):顧客生涯価値**

一人の顧客が生涯を通じて企業にもたらす価値のこと。

ここではLTVを通じて、親から子へそして子から孫へという具合に、まさに世代を超えて親しまれるチョコマントの実現化を目指したいです。

幼少期、どれだけチョコマントと接することができるのか、今回は「幼稚園」「小学校」「公園」「家」のシチュエーションを考えてみました。







## 幼稚園向けアイテム案（匂い付き消しゴム）



子供たちが好きな  
「匂いつき消しゴム」  
その見た目の可愛らしさや  
いいにおいから  
みんなの人気者に。  
誰もが一度は見たことがある  
この消しゴムは、  
振り返ると  
「あーあったあった！」  
と、なかなか印象強い。  
チョコマント消しゴムを  
常に持っている  
だんだんチョコマントが  
食べたくなってくるかも...？



画像はイメージです

消しゴム  
ほんのり甘いにおい





## 幼稚園向けアイテム案（おままごとセット）



女の子の大好きな  
おままごとセット。  
お母さんの真似で  
お料理できる！  
本物みたいな  
クオリティの高さに  
子供たちも夢中になるでしょう。  
そんなおままごとの中に  
チョコマントを...♪



ままごとセット  
みんなにふるまってあげよう！





## 幼稚園向けイベント案（チョコマント大会）



幼稚園で開催されるイベント。  
チョコマントねんどで自分の創作チョコマントを  
作ろうという大会。  
子供たちの作ったチョコマントで選ばれたものが  
期間限定で商品化！？



ねんど  
オリジナルチョコマントが  
作れる！

# 小学校でも



下敷き  
キラキラ下敷き。



リコーダー袋  
カラフルなので置き忘れ防止  
になる。



ペンケース  
リバーシブルで使える。



縄跳び  
団子の形が持ちやすい。

一輪車  
動くと車輪の残像が  
カラフルになる。



コンパス  
中心がしっかりしているので  
点がずれにくい。



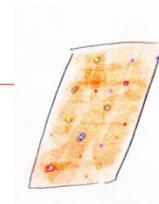
## 小学校向けアイテム案（きらきら下敷き）



小学生になると圧倒的に使う頻度が高くなる下敷き。  
その用途は文字が下に写らないようにするものだが、  
画像の少年のように静電気で髪を起す子も少なくない。  
きっと多くの子が通るであろう道。  
ならばぜひカラフルできらきらした下敷きで実験してみては。

画像はイメージです

下敷き  
キラキラ下敷き。



# 公園でも



ドッチビー  
チョコマントが空を飛ぶ…?



カッパ  
気分はお団子



砂場でチョコマント  
公園に行くのが待ち遠しい

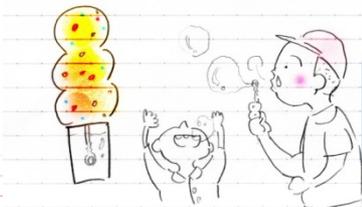


パカポコ  
色違いでお友達と!

バドミントン  
屋根の上に乗ったら  
悲しいね



砂場キット  
大きなチョコマントが作れる!



シャボン玉  
シャボン玉もチョコマントに見える



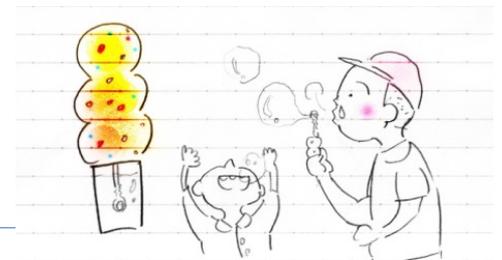
## 公園向けアイテム案（食べれるシャボン玉）



今時ではなんと食べれるシャボン玉  
というものが存在する。  
作って見て楽しい、食べておいしい。  
まるでチョコマントと一緒にだね！  
チョコマントシャボン玉も  
容器の形がお団子型なら持ちやすい、  
可愛らしい、運びやすい！  
公園でみんなと一緒に楽しめる！



画像はイメージです

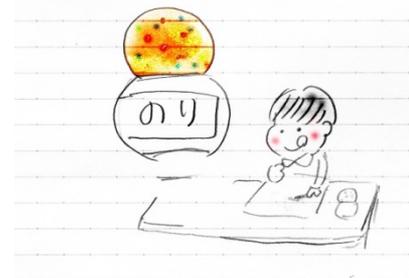


シャボン玉  
シャボン玉もチョコマントに見える

# 家の中でも



髪ゴム  
可愛いゴムで  
朝からルンルン



のり  
色はチョコレート、  
でもノリだよ！



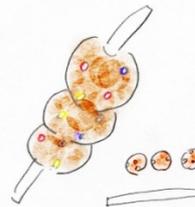
カーテン  
チョコマントからおはよう  
チョコマントでおやすみ



絆創膏  
チョコマントが元気をくれる



ふりかけ  
チョコマント味！？  
いいえカラフルなだけです



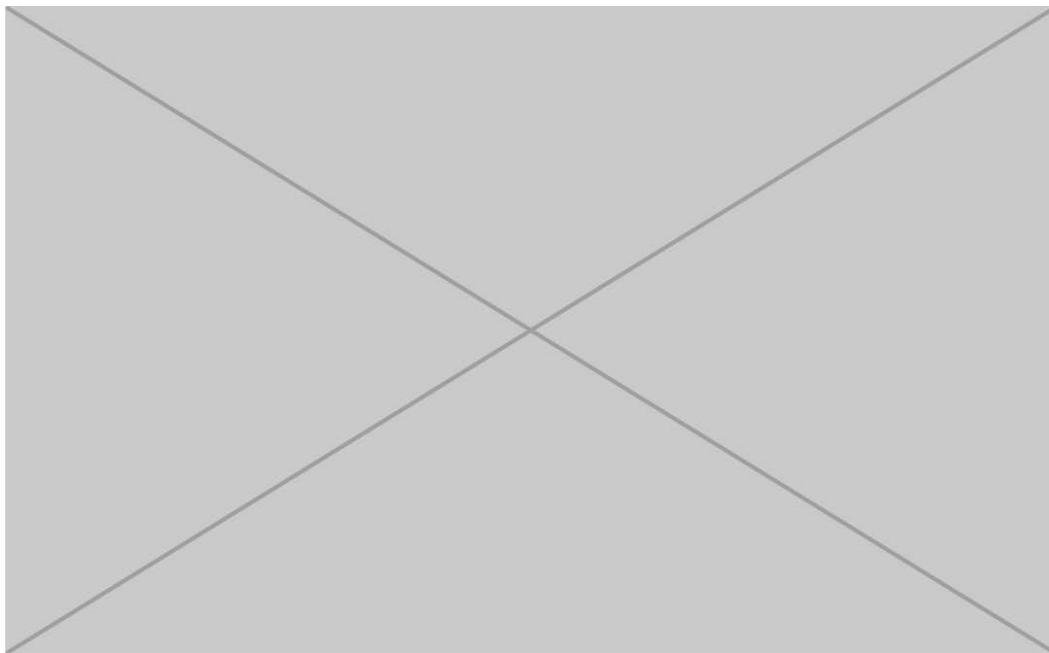
お風呂セット  
バラバラのお団子を串に刺して…



箸  
親子でおそろい



## 家庭向けアイテム案（お風呂セット）



入浴時間が楽しくなる  
お風呂セット。  
バラバラになっているお団子を  
上手に刺して  
お風呂の中でも団子屋さん気分。  
湯船に浮かんだ団子を  
捕えるのはちょっと難しいかも...  
でもこうやって手先が器用に  
なっていくんだね！

画像はイメージです

お風呂セット  
バラバラのお団子を串に刺して...





## 家庭けプレゼント企画案（ツイッター連動）



ツイッターで商品に関するアンケート、またはリプライでご要望、ご感想などくれた方から、日頃のご愛顧への感謝を込めて抽選で親子セットのチョコマント箸をプレゼント。



持ち手部分→



挟む部分→



箸  
親子でおそろい



## 家庭向けプレゼント企画案（店頭販売）



子供はよく怪我をします。絆創膏だって味気ないものよりもデザイン性のあるもののほうが好まれる。

そこでチョコマント絆創膏を店頭で配布。  
いざという時必ず役に立つはずです。



絆創膏  
チョコマントが元気をくれる



# まとめ



子供の頃はとにかくカラフルでキラキラしたものに惹かれました。水風船、カラーボール、ビーズ…。しかし幼少期もっとも衝撃だったのが「食べ物」と「日用品」とのコラボだったのです。今回企画の中にも出てきましたが「匂いつき消しゴム」は持っているだけで嬉しかったですし本当に記憶が強いのです。このようにチョコマントが今後様々な形に変化して多くの方の記憶に強く残り、伝えたくなるものになってほしいと願っております。

そしてこの一年卒業研究を通し、自分の未熟さや至らぬ点を幾度となく思い知りました。学生ではありましたが企業の方と何度も連絡をとりあい、話し合いをした時間は今後社会に出ていく為のとても貴重な体験だと感じました。この経験を忘れず、これからの生活にも活かしてゆきたいです。